

橋爪議員、県政への思い熱く語る

高橋みきこさんも挨拶



吉川での「新春のつどい」では総選挙新潟6区で候補者として頑張った高橋みきこさんも挨拶しました。高橋さんは、総選挙で躍進した日本共産党への支持に感謝するとともに、大きく変わった国会情勢を報告しました。また、選挙戦中に出会った一人の女子中学生が高橋候補の演説を全部聞いて感動し、家族にその気持ちを伝えると言ったエピソードも紹介しました。会場からはねぎらいの拍手が起きました。

地区労連 旗びらきに 橋爪・平良木 両議員参加

上越地区労働組合総連合の「新春旗びらき」が23日行われ、日本共産党議員団からは橋爪・平良木両議員が参加しました。



地区労連の旗びらきでは、毎回、単組ごとに丁寧な活動報告が行われています。しかも参加者全

員が発言するのです。医療現場などでたたかひの輪を広げている例や農業分野の深刻な状況など、生の声をたくさん聞くことができました。今年は農協労組とさいがた病院の労組から若い人たちが何人も参加し、たいへん元気の出る旗びらきとなりました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 440 2015年2月1日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

吉川多目的集会場で25日開催された「新春のつどい」は、吉川区内外からの100人近い人たちの参加で、熱気に包まれました。主催者を代表して挨拶に立った小田順子さんは、橋爪議員の小中学校時代の2年先輩。「何よりも橋爪議員の人柄を知ってほしい」と述べ、昨年発売された橋爪議員の随想集『背なかき』（北越出版・税込み1000円）の中から、「もらい乳」という題の一遍を朗読しました。橋爪議員は、「身近な県政実現へ

私の決意」と題して、20分ほど訴えました。同議員はまず、小田さんが朗読した「もらい乳」などを引用しながら、自分の生まれたところ、育ったところの紹介をし、「大勢の人たちの支えで成長してきた」と、感謝の言葉を述べました。続いて、どんな思いで町議に挑戦したのかという当時の思いを語りました。雪とのたたかい、貧乏からの解放などの話は、初めて聴いた人たちの心を打ちました。最後に、「総選挙の躍進に続いて地方政治でも躍進を」と述べ、4月の県議選に日本共産党はどう臨むかについて語りました。同議員は、原発再稼働をめぐる動きと県議会での日本共産党が5議席になる意義、深刻化する県内農業の姿と再生への道、そして県政をいかにして身近なものに変えていくかを、力を込めて訴えました。懇親会では、手づくりの料理に舌鼓をうちながら、ハーモニカ演奏、ドジョウウすくい、春日久代さんと平田エミ子さんの歌、踊り、仙田幸造さんの漫談など、じつに盛りだくさんの出し物で楽しみました。



最後に、「総選挙の躍進に続いて地方政治でも躍進を」と述べ、4月の県議選に日本共産党はどう臨むかについて語りました。同議員は、原発再稼働をめぐる動きと県議会での日本共産党が5議席になる意義、深刻化する県内農業の姿と再生への道、そして県政をいかにして身近なものに変えていくかを、力を込めて訴えました。

鈴木振興局長が講演



新潟県上越地域振興局長の鈴木興次さんが21日、上越市議会の議員勉強会で講演しました。タイトルは「上越地域の今後の課題と展望などについて」。北陸新幹線開業、広域観光連携、二次交通などの現状と課題を明らかにしたほか、農林振興部、地域整備部など、各部の仕事についても、概要を説明しました。講演を聞いた議員からは「県の仕事を具体的につかむことができて、とても良かった」などの声があがりました。

「私の決意」と題して、20分ほど訴えました。同議員はまず、小田さんが朗読した「もらい乳」などを引用しながら、自分の生まれたところ、育ったところの紹介をし、「大勢の人たちの支えで成長してきた」と、感謝の言葉を述べました。続いて、どんな思いで町議に挑戦したのかという当時の思いを語りました。雪とのたたかい、貧乏からの解放などの話は、初めて聴いた人たちの心を打ちました。最後に、「総選挙の躍進に続いて地方政治でも躍進を」と述べ、4月の県議選に日本共産党はどう臨むかについて語りました。同議員は、原発再稼働をめぐる動きと県議会での日本共産党が5議席になる意義、深刻化する県内農業の姿と再生への道、そして県政をいかにして身近なものに変えていくかを、力を込めて訴えました。

日本共産党の「新春のつどい」は来月8日、22日にも行われます。8日は市民いこいの家と高陽荘でどちらも午後2時から、22日は希望館で午後6時からです。会費など詳しいことは3人の議員に問い合わせてください。席にはまだ十分に余裕があります。